

2020年度気象講演会

東北地方の気象災害 ～現状とその背景～

令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など近年の東北地方の気象災害を概観すると共に、地球温暖化と日本、地域の自然災害がどのように関係しているのかなどについて説明し、自然災害に対する理解を深め、被害の軽減などについて考えます。

講演
I

「近年の東北地方の気象災害」

仙台管区气象台 気象防災部次長
岩井 弘樹 氏

講演
II

「地球温暖化と日本の気候」

東北大学 大学院理学研究科 教授
理学研究科附属大気海洋変動観測研究センター長
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門地球観測研究センター 参与
早坂 忠裕 氏

令和2年12月12日(土)

午後2時00分～午後4時

令和元年台風第19号の衛星画像（令和元年10月12日21時）と解析雨量 24時間積算（令和元年12月06時～13日03時）

Zoomによるオンライン開催（参加無料：定員200名）

事前申込（12/4日切）とインターネット接続環境が必要です

主催 日本気象学会東北支部

共催 仙台管区气象台

後援 宮城県、仙台市、日本気象協会東北支社、日本気象予報士会東北支部、地球ウォッチャーズ-気象友の会-

問合せ先 日本気象学会東北支部事務局（仙台管区气象台防災調査課） TEL 022-297-8162
E-Mail : tohoku-admin@tohoku.metsoc.jp

講演要旨と講師プロフィール

講演Ⅰ 近年の東北地方の気象災害



講演要旨

近年、日本の各地で豪雨災害が多発していると言われている。今年発生した令和2年7月豪雨をはじめ、令和元年は、8月に九州北部地方の大雨災害、台風第15号では千葉県を中心とした猛烈な風や雨による災害、そして台風第19号では、関東甲信地方、東北地方を中心に記録的な大雨によって甚大な災害となった。東北地方も例外ではなく毎年のように豪雨災害が発生しており、また、それぞれの大雨毎にその気象状況は多様である。本講演では令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、近年に発生した東北地方における大雨災害について、気象衛星や気象レーダー等の観測データから、それぞれの気象状況について振り返る。

岩井 弘樹 (いわい ひろき)

青森県五戸町出身

1981年4月 青森地方気象台採用。

青森地方気象台、山形地方気象台、仙台航空測候所、仙台管区気象台などで勤務し、予報官、防災気象官、観測予報管理官、防災管理官、気象防災情報調整官等を歴任。令和2年4月から、仙台管区気象台気象防災部次長。

講演Ⅱ 地球温暖化と日本の気候



講演要旨

集中豪雨などの気象災害によって、我が国では過去四半世紀の間に毎年平均で100名以上の犠牲者を出しており、社会経済への影響も無視できない。近年の異常気象は地球温暖化に伴う気候変動が関係していることが様々な研究によって明らかになってきた。本講演では気候変動の実態および近未来の気候予測について紹介し、自然災害の要因となる気候変動のメカニズムをIPCC（気候変動に関する政府間パネル）のレポートや最新の研究事例をもとに解説する。また、多様な利害関係者が絡む地球温暖化問題の理解の仕方、それに伴う自然災害のリスクについてグローバルな視点も交えて考えてみたい。

早坂 忠裕 (はやさか ただひろ)

宮城県仙台市出身

1988年 3月 東北大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士）

1990年11月 東北大学理学部助手

1994年 5月 同助教授

2001年 4月 大学共同利用機関 総合地球環境学研究所 教授

2008年 7月～現在 東北大学大学院理学研究科 教授

2014年 4月～2016年 3月 東北大学 大学院理学研究科長・理学部長

2018年 4月～2020年 3月 東北大学理事・副学長

2018年 5月～現在 日本気象学会 理事

2020年 4月～現在 東北大学 大学院理学研究科 附属大気海洋変動観測研究センター長
宇宙航空研究開発機構（JAXA） 地球観測研究センター 参与

日本気象学会東北支部2020年度気象講演会は、Zoomによるオンライン開催となります。

参加費は無料ですが、以下のとおり事前の参加申し込みとインターネット接続環境が必要です(定員200名)。

お申し込みは、ホームページ
(<http://tohoku.metsoc.jp/lecture/lecture.html>)から
“申し込みはこちら”へ進み、以下の1~3により手続き願います(申し込みフォームが表示されます)。



【オンライン講演会参加までの流れ】

1. 上記ページの申し込みフォームからお名前、メールアドレス、その他必要事項を入力して申し込みをお願いします(12月4日(金)〆切)。
2. お申し込み頂きましたメールアドレス宛に1週間以内に参加登録の旨、メールでお知らせ致します。
※申込1週間後になっても届かない場合にはお手数ですが事務局までご連絡ください。
3. 当日は、2.とは別にお送りする招待メールの案内に従って、開始時刻までに接続・参加をお願いします。

ご不明な点は以下までお問い合わせ願います

日本気象学会東北支部事務局(仙台管区気象台防災調査課)

TEL 022-297-8162

E-Mail: tohoku-admin@tohoku.metsoc.jp

Zoomによるオンライン「気象講演会」の参加に必要なのは、インターネットに接続したパソコン、スマートフォンなどのデバイスのみです(マイク、カメラは必要ありません)。パソコンをご利用の方は、Zoomアプリや、Webブラウザからの参加が可能です。

【注意事項】

インターネット接続に係る通信料は参加者様ご負担となります。2時間のビデオ配信となりますので、場合によっては膨大な通信量となる可能性があることにご注意ください。